

保育所サービス評価結果記入様式

社会福祉法人甲南会 『甲南のぞみ保育園』 評価シート

評価日：令和6年11月27日・11月28日

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	法人の理念、園の運営方針、保育基本目標、保育方針が明文化されている。方針については、園だよりを通じてわかりやすい形で明記し周知されている。重要事項説明書を作り変え、見やすく工夫されている。また、コードモンでいつでも見れるようになっている。職員への周知は会議での説明はもちろん、日常的に職員のあるべき姿を確認する際、全国保育士会倫理綱領や甲南のぞみ保育園保育基本目標を繰り返し説明する努力がなされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	法人本部で毎月役員協議会があり、運営会議にて本部の理事から必要な情報が伝達され周知されている。日常的に事務職員が把握分析しており、ホームページにも載せているのでいつでも閲覧できる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	・役員協議会で毎月報告検討している。気になることがあればいつでも法人事務局に相談に行ける体制を整えている。経営状況は職員会議で周知されている。4月の全職員会議では常務理事から伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	本部の運営協議会において、中・長期の事業計画や目標設定はされている。また、経営組織等の強化に向けた法人運営が計画的に行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	中・長期計画に基づく単年度の保育内容や事業運営は計画的に行われており、事業管理や人事管理・施設設備管理が適切になされている。単年度の事業計画には、数値目標や具体的な成果等の設定までは確認出来なかった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	事業計画の策定に全職員は参画していないが、来年度どんな保育をしていきたいか意見を聞いたり、日常的な言動を拾いながら反映している。リーダー会議等で事業の振り返りを行い、職員会議等で説明もしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	事業計画はホームページに記載されている。しかし、保護者に集まってもらい説明をする機会は設けていない。保護者へは園だより等で分かり易く記載し配布している。 ※エの項目は【非該当項目】とする。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	年2回程度、職員と園長の個別面談がある。また、毎週メンターとメンティのミーティングを設けている。園長以外にも専門リーダー4人が日常的に全職員を気にかけて、保育内容について組織的に評価を行う体制が整備されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	前回の第三者評価結果をもとに改善計画を策定し取り組んでいる。課題をそのままにせず、会議等の議題に上げて職員で検討し改善に向けて継続して取り組んでいる。毎年、自己評価を実施し、その評価から課題を明確にし見直しを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	施設長の役割と責任が職務分担表に明記されており、災害等の有事の際にも組織図により連絡方法は明確にされている。しかし、園長の役割や責任等について職員への説明及び法令等遵守事項について説明を行う機会に限りがあり、職員周知まで至っていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	園長は日本保育士会滋賀県支部の研修や滋賀県保育協議会の研修に参加し、最新の法令情報等を取り入れている。更に専門機関からの新しい保育情報を得て、適宜職員へ伝え最新の情報を共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	自ら気づきを得られる「振り返りシート」を各職員が記入し、それを基に個別面談が行われている。話しやすい職場づくりのために、園の取り組みに沿った内容の園内研修、保育の質の向上のためにコミュニケーションを高める研修が行われている。外部研修も積極的に取り入れ保育の質の向上に繋げている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。

13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	☑	ア	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	法人として職員の働き甲斐やワークライフバランスの向上を目指し、「働きやすい職場づくり」の取り組みを始めている。職員から業務軽減アンケートを収集し、今後業務の実効性を高めるために活用する予定である。		☑	ウ	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			☑	エ	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らその活動に積極的に参画している。

## II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理体制が整備されている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	☑	ア	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	甲南会の事業計画の中にも人材確保への対応が明記されており実施されている。その他、福祉のお仕事フェアにも積極的に参加し人材の確保に努めている。インターンシップや、学生の受入れなども行っている。		☑	ウ	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			☑	エ	法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	☑	ア	法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等)に関する基準が明確に定められ、職員等に周知されている。
	個別面談や日常の会話から、個々の職員の働き方に無理が出ていないか配慮し、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保を図っている。有給休暇の取得確保等、仕事と生活が両立できるように職場環境を整えている。新たな取り組みとして、非常勤職員をリーダー職として起用し、よりスムーズな園運営と個々の満足度にも注力している。また、職員の働き方についての意見を聞くためにアンケートを実施し、業務改善に活かしている。		☑	ウ	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			☑	エ	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			☑	オ	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			☑	カ	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	☑	ア	職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	法人全体で働きやすい職場環境づくりに努めており、滋賀県ワークライフバランス推進企業の認定も受けている。健康診断とともにストレスチェックも行い気になる職員はクリニックの受診に繋いでいる。職場内の安全衛生管理者と産業医がタッグを組み、包括的に職員をフォローしている。職員のやる気を育てるため常勤・非常勤にかかわらず、活躍の場を提供し責任を持って職務に当れるように工夫している。時間外労働は園長と事務主任が管理している。法人本部には産業カウンセラーが配置されており、カウンセリングルームを守秘義務を守りながら運営している。		☑	ウ	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			☑	エ	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			☑	オ	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			☑	カ	ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			☑	キ	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			☑	ク	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	☑	ア	組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	職員一人ひとり「なりたい姿目標シート」や「ブラッシュアップノート」を持ち、自らの将来計画を具体的に表明し、日々の保育を振り返りながらなりたい姿に近づけるよう取り組んでいる。「ブラッシュアップノート」は、一冊のファイルになっていて、研修記録や目標などが記載されていて分かりやすい。		☑	ウ	職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			☑	エ	職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			☑	オ	職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	☑	ア	保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	法人の運営指針の中に、職員の資質、専門性の向上について明記されている。「子どもの人権感覚に影響を与える存在であることを自覚し自らの人権感覚を磨いて行く」ように、学び続けていけ研修機会や教育体制が整えられている。		☑	ウ	策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			☑	エ	定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			☑	オ	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。

19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	全職員を対象とした年間の研修計画が年度初めに配布され、保育に関することやICT、社会人としてのメンタルヘルスやアクセシビリティ対応、特別支援教育や食育、絵本の研修と幅広く学ぶ機会を設けている。年間研修計画にない研修や自主的に参加する研修は、研修費のみの支給となっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を奨励している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生養成校とは密に連絡を取り合い丁寧な実習がなされている。実習生オリエンテーション等、主任保育士や園長も交えて振り返りの時間を設けている。基本的姿勢や特性に配慮したプログラムも明文化されている。しかし、「実習生受入マニュアル」は作成されていないが、保育士と栄養士にはプログラムがある。実習指導者研修はあるが必須ではないため、まだ未受講の状態である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ	指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

## II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	ホームページや園だより等を活用し随時情報公開が行われている。年度ごとの事業計画も分野ごとに明記されており分かり易い計画になっている。運営状況は理事会や評議員会でも報告されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	事務主任の専門リーダーを中心に、複数の職員による確認作業が行われ、透明性の高い適正な取組が行われている。外部から毎月顧問税理士が訪れ監査を行い、チェックしたうえで法人役員協議会でも報告をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

## II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	「コドモン(連絡アプリ)」に情報が常に配信され、一人ひとりの子どもや保護者のニーズに沿った社会資源が活用できるように配慮している。地域と保育園との基本的な関わり方について文書化されているが、新型コロナ禍以降活発な交流は行っていない。		<input type="checkbox"/>	ウ	子どもの個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	プールの時期にはスポットで監視の支援員に関わってもらったり、職場体験オリエンテーション等地域との関係が適切に確保されているが、ボランティアに対して研修を行ったり、基本姿勢や受け入れについてのマニュアルまでは準備されていない。		<input type="checkbox"/>	ウ	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	学校教育への協力をを行っている。

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
家庭児童相談室や民生委員・児童委員らと信頼関係を築き、子どもや保護者を守るための連携が取れている。ネットワーク会議や園長会議にも参加し意見交換出来ている。まちづくり協議会によるお話会が開催されれば参加し、関係機関や地域住民との関係づくりに努めている。一時預かりについては、他園や行政と協同で課題解決に取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
子育て支援事業として園庭開放や給食の試食会、のぞみカフェを開催し読み聞かせを行っている。多様な機関との連携が取れている。地域の活性化に付与できているが、まちづくりへの貢献までは難しい。園庭開放に付随した子育てひろば「すくす〜く」や、顔の見える関係の中で、地域の子育て支援には保育所が有する機能を地域に還元していると言える。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
園は土砂災害時の一時避難所になっており、危機管理マニュアルや発生時の対応がフローチャートになって準備している。地域の子育て世代が孤立しないように離乳食試食会等で、ゆっくり過ごす中で親同士が交流できる場として保育園を活用している。年に10回程度は実施され社会福祉事業にとどまらない地域貢献事業を行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

### III 適切な福祉サービスの実施

#### III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
日常の保育の振り返りの中で、常に人権や文化の違いについての気づきを職員間で共有している。「人権擁護のためのチェックリスト」を全職員が行い、自己覚知や保育の質の向上に繋げている。気持ちに寄り添う関わりについての資料を用いて研修も行われ会議でも全職員で考える機会を持っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
一人ひとりの子どもに適切な生活環境の確保はできており、プライバシーを守る工夫もされている。しかし、プライバシー保護に関する規程が明確ではなく、今後プライバシー保護規程策定への取り組みを期待したい。			<input type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は口にチェック）
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	甲南のぞみ保育園の重要事項説明書は、記載内容が工夫されイラストや配色を工夫し分かりやすく掲載されている。入園希望者はもちろん施設見学者に対しても都度丁寧な説明がなされ、保育園を知ってもらえる努力がなされている。公共施設等多くの人が入手できる場所には置いていないが、ホームページ上で誰でも閲覧できる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	入園前には、分かり易く内容も充実した重要事項説明書に基づき、丁寧な説明がなされ、内容の理解を確認したうえで重要事項の同意及び利用契約書をもっている。いつでも気軽に確認できるようにホームページにも全ページが載っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	引き継ぎ文書は定められておらず、相談があればもちろん答えるが窓口の設置はない。文書化はしていないが、実際には転園後も保護者等の相談対応は実施している。		<input type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は口にチェック）
33	① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	年1回「園の取組に関する保護者アンケート」を実施している。アンケートはICT化により保護者連絡アプリを利用して実施することにより回収率が上がっている。調査の結果を分析・検討して保育の改善に反映させている。また、全ての保護者と年1回個別面談を行い意見を聞き取っている。保護者会の役員会に園長と主任が出席して意見交流している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 分析・検討の結果にもとづき、具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は口にチェック）
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	年1回以上、第三者委員会を開催し保護者からの問い合わせや苦情への対応を適切に行っている。また、保護者との日常の会話の中からニーズを汲み取り保育に活かしている。普段より気軽に苦情が言える関係性を築き、大きな問題になる前に話し合いで解決できるよう工夫している。保護者等がどこに苦情を申し入れればよいのか分かるよう相談窓口を掲示している。苦情内容や対応策等は、個人が特定されるもの以外は内容を公表している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	匿名で安心して苦情が言えるよう工夫している。保護者が抱え込まないよう話しやすい環境を整えている。但し、保護者の相談方法等についての掲示がされていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	保護者等から苦情や相談が寄せられた時には、談話室等話しやすい環境に配慮し、「苦情解決マニュアル」に沿って迅速な対応している。意見箱も設置され、意見箱の上には複数の苦情申し入れ窓口の連絡先が掲示されている。原則、その日の内に保護者への対応ができるように真摯に向き合っている。一方で、ワークライフバランスとの兼ね合いで、担当保育士と保護者が会う機会が減って来ている課題もある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすい意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	☑	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	年間計画の中に定期的に「あんげんの日」を設け、安全面に關して小さなことも話し合っている。ヒヤリハットやアクシデント報告は都度内容を検討して対応策を図っている。年3回ほど「園児安全委員会」で協議され、安心・安全な保育のために組織的に取り組んでいる。		☑	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			☑	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			☑	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			☑	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	☑	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	危機管理マニュアルの中に「保健衛生・感染症対応健康管理マニュアル」がある。感染拡大を防ぐために正確な情報が速やかに全保護者へ届くようにコドモンで一斉メールを送信し、必ず読んでもらえるようにお願いしている。同時に掲示板や園だより、保健だよりでも注意喚起している。また、安全委員会の職員が感染症予防研修を企画して実施している。		☑	ウ 担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			☑	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			☑	オ 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			☑	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直ししている。
			☑	キ 保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a	☑	ア 災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	危機管理マニュアルの中に「甲賀市立保育園幼稚園防災マニュアル」が備わっている。月に1回、避難訓練を行い職員の指示の元速やかに避難できるよう訓練している。保護者への連絡方法は一斉メールで既読がつくシステムになっている。備蓄リストも防災管理者が兼務し管理している。防災品・非常食・まちづくり協議会の水やサーバー等を防災庫に備蓄しているが、量的には不足していると思われる。		☑	ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
			☑	エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			☑	オ 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	☑	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	年度初めに年間計画が策定され地域活動の行事計画、食育計画、保健計画、カンガルークラブ年間計画、外部講師の計画や身体づくり年間計画、誕生会年間計画等々、1年間の行事予定も見やすく文書化され整理されている。標準的な実施方法により計画的で多様な保育実践が行われている。		☑	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			☑	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			☑	オ 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	☑	ア 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	標準的な実施方法に基づき、指導計画策定責任者の主任保育士を中心として、保育の振り返りを行い次年度の保育計画を検討している。様々な職員の意見が次年度への提案に反映されている。		☑	ウ 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			☑	エ 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		第三者 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	☑	ア 指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	適切なアセスメント手法に基づき指導計画が策定され、児童票に保護者の意向や願い・希望も記載されている。保護者と共に子育てをしていく姿勢が感じられ、子どもに関わる全ての人が子どもたちを見守っていく保育実践を反映した指導計画である。		☑	ウ ささまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			☑	エ 保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			☑	オ 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			☑	カ 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			☑	キ 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			☑	ク 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)

43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	年に1回、リーダー職員を中心に指導計画の評価・見直しを行っているが、緊急時は随時職員会議を開き、迅速に協議する手順が確立されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する場合は仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	保育所児童要録フォーマットを新人に対する研修でも伝達し、要録を共有することで保育の実践状況が共有ができています。保育業務支援システム(コドモン)を利用することで、全職員へ必要な情報が届く仕組みが整備されている。毎月職員会議も開催されている。職員室ではホワイトボードも活用しており、事務職員が適宜情報を記載している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	業務マニュアルの中に「個人情報取り扱い規程」があり、遵守している。重要事項説明書にも1ページを使って個人情報についての方針や取り扱いについて細かく記載があり、窓口責任者として園長の氏名が明記されている		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

## 【内容評価基準】

### Ⅳ-1 保育内容

Ⅳ-1-(1) 全体的な計画(保育課程)の編成		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画(保育課程)を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	全体的な計画(保育課程)は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨を捉えて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	全体的な計画(保育課程)は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	法人の基本理念や児童福祉法を遵守した新保育所保育指針に基づき編成され、施設の目的や基本理念、運営方針、保育基本目標が明示されている。子どもの状況の変化に合った取り組みができるように年度ごとに計画の見直しも行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	全体的な計画(保育課程)は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	全体的な計画(保育課程)は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	全体的な計画(保育課程)は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
Ⅳ-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	看護師や職員により適切な温度や湿度が保たれている。空気清浄機も各教室に設置しており、落ち着いて過ごせるように家具や遊具の配置にも気を配っている。床暖房は一括管理している。エアコンの設定温度は、天候等で声掛けにより変更しており、省エネにも配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	保育士が子どもの保育時間や家庭環境、親の状況などを総合的に考え対応している。自分の気持ちを表現するのが苦手な子どもには、イラストで書いたカードを相手に見せることで気持ちが伝えられるよう、様々なイラストが書かれたカードが準備しており、子どもの安心に繋げている。職員は一人ひとりの子どもに寄り添い適切に対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。

49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	楽しく食えることを基本として、食事の時の食器の配置や食べ方、足を床につけて姿勢よく食えること、箸の使い方等、その方が美味しいと自然に思える指導がなされている。子ども同士で考えて決めていく過程をととても大切にしている様子が見受けられた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	朝の会などは、保育士と子どもではなくサークルタイムとして輪になって、お互いの顔を見ることで違いを理解するなど、子どもの主体性に配慮した取り組みを行っている。新型コロナ禍以降、地域との交流の機会が減ったが、竹馬づくりは地域の協力を得ている。また、定期的にケアハウスの高齢者との交流は継続している。移動販売車に来てもらい、買い物体験や料理（カレーづくり）などを実施している。みんなで一緒に活動する機会を設けており、散歩のときに道路の右側を歩くとか、横断歩道で手を上げて渡るとか、ゴミをひらうとか、大切な社会的ルールが身に付くよう工夫している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	専門書通りではなく、乳児のその時々の様子を見ながら丁寧な関わりが出来る。育児担当制を採用し、愛着関係を築きやすくしている。保育士に素直に甘えることが出来るように保育している。0歳～1歳児は日中は保育士を1人増やして対応している。また、夕方の部屋を共同にしない等、乳児が疲れないような配慮もしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
52	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	今年から異年齢保育の機会を増やし、子どもたちが自ら遊びを見つけ自発的に活動できるよう配慮している。遊ぶ、寝る、食べる、排泄するといった空間を分けることにより、見通しを持って意欲的に生活出来る。保育士だけでなく看護師や栄養士、調理師が部屋に入ること、いろいろな大人との関わりも持っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりを仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	園児みんなでポスター作成をしたり、集団で何かを成し遂げる取り組みがなされている。集団の中で協調性を持ちながら、自己表現が出来るように工夫や配慮を行っている。コロナ禍でしばらく途絶えていた地域住民との交流や、神輿や太鼓などの交流機会を徐々に増やすことを期待します。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学前の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。

54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	甲南のぞみ保育園は配慮が必要な子どもを多く受け入れている。子ども同士の関わりで配慮しながらも、共に成長できる保育を行っている。身障者トイレなどハード面での環境整備に加え、医療機関や専門機関とも密に連携し、子どもの成長と状況に応じた保育に取り組んでいる。職員も研修等で知識や情報を得て、日々の保育に活かしている。他の保護者への適切な情報伝達は必要と感じているが、課題が多く取り組みは進んでいない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	職員は引継ぎ用のファイル一冊に連絡すべき事項は必ず記入し、口頭で伝達できない時も情報の漏れがないように注意している。園児に関しては長時間過ごす子どもにはおやつ等の提供をしている。長時間保育に疲れることがないように家庭的な雰囲気を作り、ゆっくり休める環境も確保されている。また、部屋を合同にすることで異年齢の子どもが刺激し合い楽しく過ごせる工夫がなされている。保護者と担任の連携は時間の都合上十分とれているとは言えないが、伝えるべき事項は必ず連絡しており保護者にも寄り添っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	5歳児の月案では小学校との連携や就学に関連する事項の記載があり、子どもが就学したあとも不安なく過ごせるように保育している。就学への興味が持てるよう小学校との連携を密にし情報交換している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
IV-1-(3) 健康管理			<input checked="" type="checkbox"/>	第三者評価結果	
			<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	看護師による保健日誌や保健調査票があり、子どもの保健に関する年間計画も作成している。看護師が毎日全クラスを回り、情報収集を実施している。感染症情報収集システムを導入しており、病気で欠席した園児の症状についてより詳しく聞き取ることで家庭との連携がスムーズになっている。入園のときに保護者にはSIDSについて説明している。保健健康マニュアルは看護師により1年ごとに情報を更新している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子ども健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	個別の健康票に記入し保護者に押印して返してもらい閲覧漏れがないようにしている。園内でも情報共有できている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	主治医の指示書のもと適切に対応出来ている。アレルギー給食検討会には栄養士・調理師のほか保育士も加わり、どの子どもにとってもおいしい給食をみんなで楽しく食べられるように工夫している。アレルギーを持たない園児や保護者に対しアレルギー疾患や慢性疾患について理解を促す取り組みまでは出来ていないが、職員は研修等により必要な知識情報を得て保育に活かしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。

IV-1-(4) 食事		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
地元の食材を使い土や葉っぱがついた野菜を園児が見て触って食への興味が湧くように工夫している。行事担当と食事担当が連携し行事食も取り入れて季節を感じる行事食の提供も行っている。子どもの手の動きや育ちに合わせた食器を使用し、自分でお替りに行き、自分が食べられる量を自分で決めている。保護者に園だよりでレシピを伝えたり、のぞみフェスでは出汁の試飲や噛み噛みメニューの一つである黒影米のご飯の試食をしてもらい、家庭でも食育に関心を持ってもらえるよう取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
61	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
衛生管理チェックリストがあり、マニュアルに基づき衛生管理が行われている。様々な職種が集まり給食検討会を月1回開き様々な視点で献立調理を工夫している。地元食材や季節感も意識し工夫している。子どもが給食を食べている時に、給食職員がクラスに出向き実際に食べている様子を見ることで、今後の献立にもい活かして、子どもたちも喜んで食べることが出来る。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

## IV-2 子育て支援

IV-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
送迎時の交流を大切に、連絡帳や園だより・コードモンも活用しながら保護者とともに子どもの成長を共有出来るよう工夫している。0歳～2歳児は連絡帳を利用し、3歳～5歳児は月1回のお便りで報告している。また、重要なことは連絡帳ではなく、直接口頭で伝えるようにしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有出来るよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
IV-2-(2) 保護者等の支援		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築く取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
日々の送迎の中で保護者とコミュニケーションを取り、普段と違う様子や気になることがあれば職員間で共有し、担任だけが抱えこまずに園全体で保護者対応を行っている。相談内容は記録し適切に保管され、必要に応じて外部機関に繋いでいる。また、離乳食については、保護者に寄り添いアドバイス等している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
日々の保育の中で丁寧に子どもの様子を観察しており、何か気になることがあれば職員同士で情報を共有し見守る体制が出来ている。会議や研修で虐待や権利侵害に関する理解や学びは常に行っており、人権意識の高い保育園です。関係機関との連携も図れている。早急に虐待対応マニュアルの策定が望まれます。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづき職員研修を実施している。

## IV-3 保育の質の向上

IV-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り自己評価を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
職員は定期的に自己評価を行い、日々の保育への取り組み方の振り返りを行い自己覚知に努めている。自己評価をもとに園長と面談し、「ブラッシュアップノート」を活用して未来計画を描きながら保育に携わっています。自分を客観的に振り返ることで、違う意見も取り入れ専門性の向上、意識の向上につながっている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。